

北海道 胆振東部地震による被害関連情報

(第2報)

2018年9月13日

各教区主教様
各教区事務所・教務所責任者の皆様
管区総主事 矢萩新一司祭様

主の平安をお祈りいたします。

9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震から1週間が経過しました。40名以上の方が亡くなられ、今も1500名ほどの方々が避難生活を余儀なくされています。北海道は秋を迎え、急速に朝晩の冷え込みが強くなるため、避難者の健康が心配されます。しかし、震源地に近い避難所には未だに停電、断水の箇所が多く、一刻も早い復旧が望まれます。また、80キロほど離れた札幌市内でも多くの住宅に被害が生じ、幹線道路の陥没や工場の被災、物流の停滞による食料品不足の状態が続いています。

各自治体は、ボランティアの受け入れ体制を整えつつありますが、宿泊施設やその他の設備を持たないため、日帰りが可能で、なおかつ自家用車で移動可能な場合に限定しているところが多いのが実情です。担当者からは、復興の道のは「細く長く」にならざるを得ないとの声が聞かれます。

このように現地での受け入れ体制にある程度の目途が立ったため、北海道教区は苫小牧聖ルカ教会に「聖公会ボランティアセンター」を設置、ボランティアの受け入れを開始することとしました。しかしながら、物理的、人的な制約もあり、最小限の規模となりますことをご了承ください。

ご奉仕可能な方は下記の要領をお読み下さり、申し込み用紙に記入してお送り下さい。

亡くなられた方々に主にある平安が、困難な生活を強いられている方々にふさわしい援助と希望が与えられますようにお祈り申し上げます。

<聖公会ボランティアセンター概要>

1、苫小牧聖ルカ教会内に「聖公会ボランティアセンター」を設置します。

○住所 北海道苫小牧市旭町 2-6-22

☆JR 苫小牧駅より徒歩 10～15 分

☆新千歳空港からはバスが出ています

☆フェリーターミナルからは苫小牧駅経由のバスに乗り、市役所前で下車
徒歩 8 分

○ボランティアセンター代表 吉野暁生司祭（苫小牧聖ルカ教会牧師）

2、ボランティア受け入れ期間 9月19日(水)～10月3日(水) 2週間

○参加期間は1泊以上、複数日が可能です。

○日曜日は、作業はお休みとします

3、受け入れ人数 最大時5名まで

4、活動地域および仕事の内容

厚真町、むかわ町、安平町の被災現場、または避難所にて、各社会福祉協議会との連携のもとで動きます。

(内容) 家屋内の片づけ、倒木撤去の手伝い、その他、その日の要請に従います。
物資の運搬など、自動車免許をお持ちの方は車の使用をお願いする可能性もあります。

5、一日のスケジュール

7:30~45	現地(むかわ町、厚真町、安平町)へ出発
8:30	ボランティア受付(現地)
9:00	午前の作業スタート
12:00	昼食休憩
13:00	午後の作業スタート
15~16:00	作業終了
17:00	センター着
17:30	夕の祈り
18:00	夕食

*なお、送迎の関係上、午前、午後のみ参加はできません。

6、ボランティアセンターで提供するもの

- ・ 宿泊場所
- ・ 食事(外食の場合もあります)
- ・ 作業現場までの送迎
- ・ シャワー施設
- ・ ボランティア保険(未加入者)

7、持ち物

- ・ 動きやすい服、帽子、タオル、軍手、上靴は必須(床にガラスや陶器が飛散しているものを片付けます)。
- ・ 厚手の衣類、ジャンパーなど(天候によっては氷点下近くまで気温が下がります)

8、申し込み方法

- ・ 事前に自治体にボランティア登録が必要なため、到着3日前までに「申し込み用紙」にご記入の上、FAXかメールに添付してお送りください。なお、個人情報、それ以外の目的に使用することはありません。

- ・ 申し込み先

苫小牧聖ルカ教会 FAX 0144-34-1178
Email: luke@nssk-hokkaido.jp (吉野司祭)

- ・ 連絡先 吉野暁生司祭 携帯電話 080-3254-1675

以上

日本聖公会北海道教区 主教 ナタナエル 植松 誠
事務所主事 司祭 コルベ 下澤 昌